

臨時部長会議開催結果 概要

●日時	令和2年7月7日(火) 午後1時27分から午後2時53分まで			
●場所	3A会議室			
●出席者	■は出席(代理出席は○)			
	■ 市長	■ 高村副市長	■ 教育長	■ 政策部長
	■ 総務部長	■ 暮らし安心部長	■ 文化スポーツ部長	■ 福祉部長
	■ こども健康部長	■ 環境産業部長	■ 都市部長	■ 建設部長
	■ 上下水道局長	■ 教育部長	■ 消防長	
	進行：副市長 事務局：総合政策課長、課長代理、担当 陪席：秘書課長			
●会議	1	市長あいさつ		
	2	協議事項 令和3年度県の施策、予算等に関する要望について		総合政策課
	3	報告事項		
	(1)	表丹沢魅力づくり構想案の策定について		総合政策課
	(2)	工事請負契約の締結について		契約検査課、建設管理課
	(3)	名水はだの富士見の湯における設備の不具合について		観光振興課、公共建築課
	(4)	土地利用委員会調整部会の審議案件について		開発指導課
	4	議員連絡会(7月16日)への報告事項		
	(1)	表丹沢魅力づくり構想案の策定について		総合政策課
	(2)	工事請負契約の締結について		契約検査課、建設管理課
(3)	名水はだの富士見の湯における設備の不具合について		観光振興課、公共建築課	
●会議概要				
1	市長あいさつ			
	<ul style="list-style-type: none"> ・南九州では、熊本・鹿児島を中心に豪雨があり、人命が失われるなど、甚大な被害が発生した。それぞれの立場で様々な危機管理を想定すること。 ・6月議会が閉会し、感染症への対応のため提案した緊急対策の全ての議案が可決され、報告案件も全て承認いただいた。 ・感染症の対応に追われる中、6月1日付の人事異動と議会への対応が重なったが、経験に裏打ちされた自信を感じさせ、落ち着いた安定感のある答弁をしていた。委員会を含め、議会の中で指摘された事項については、庁内の連携を図り、適切な対応をお願いしたい。 ・本市の新型コロナウイルス感染症感染者は累計で15名となった。東京都を中心に第2波を思わせる感染者数の増加があり、少しも油断できない状況ではあるが、少しずつ日常を取り戻しつつあるように感じる。 ・本市の感染症に対する緊急対策は52事業、総事業費が176億4,337万6千円という予算規模となった。 ・昨日までに「問合わせ専用ダイヤル」の受付件数は1,318件、「拡大防止協力金」は470件の申請があり、この内439件、4,390万円(申請の93.40%)が支給済。また、「国の特別定額給付金」は、68,722件の申請があり、64,623件、144億8,360万円(申請世帯の94.04%、全世帯の87.86%)が給付済。 ・職員の大変迅速な対応が、市民の信頼につながる。引き続き、感染症対策の徹底をお願いしたい。それぞれの業務の中で感染症対策をし、これまでの日常、市民生活、経済活動を取り戻していけるよう取り組んでほしい。 ・この夏に予定していた地区別市政懇談会は、感染拡大防止のために、書面での意見交換となる。 ・新総合計画策定に向けたタウンミーティングも兼ねて実施する予定なの 			

で、担当課では、素案の動画配信、パブコメの期間延長などにより、市民の声、地域の声を計画に反映していくことを検討している。

- ・市民の声が無にならないよう、これまでの経過、現在の状況をしっかり整理・把握した上で、今後の方向性を考えてほしい。
- ・来月の総合計画のヒアリングに向けて、各部局では構想を練り、新総合計画も見据え、新年度の予算編成に向けて動き出す時期となる。
- ・できる限り連続的に夏季休暇をとり、心身ともにリフレッシュし、気持ちにゆとりをもって仕事に臨んでほしい。
- ・梅雨があけると、暑さも本番となるため、熱中症などにより体調を崩さないよう、体調管理には十分留意してほしい。

2 協議事項

「令和3年度県の施策、予算等に関する要望について 総合政策課

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

Q. 「No.1 2 二級河川水無川の河床整備」については、昨年度より要望区間を延長しているのので、要望区分を継続ではなく、一部新規としてはどうか。

A. 区分については再度、精査した上で決定する。

3 報告事項

(1) 表丹沢魅力づくり構想案の策定について 総合政策課

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

Q. 資料1の魅力づくり構想マップはどのように活用するのか。

A. A2に引き伸ばし、この1枚でビジョンや取組みが説明できる資料としていきたい。

また、別途コンセプトブックを作成しており、市民及び市外に向けたPRに活用していくことも考えている。

Q. 7月22日の記者会見で、クライミングパークやセラピーロードと合わせて情報発信をすることだが、これら施設をどのように関連付けて発信するのか。

A. 構想内にある施策を具体化したものとして、これらと合わせヤビツ峠のレストハウスについても発信していきたい。

(2) 工事請負契約の締結について 契約検査課、建設管理課

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

意見 資料と添付の図面の施工延長が一致するように表記してほしい。

(3) 名水はだの富士見の湯における設備の不具合について 観光振興課、公共建築課

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

Q. 高温水のPH値はどれほどか。

A. PH13のアルカリ性である。

意見 富士見の湯とクリーンセンター間の市道63号線について、平成29年度に占用許可を出しているが、本件について、これまで建設部へは情報提供がなかった。安全性が確保されるよう原因を究明し、逐一情報共有をしてほしい。

Q. 高温水が周囲の河川は流出したことはないか。

A. 周囲の河川等への流出は確認していない。

Q. 調査委員会の構成やスケジュールはどのようなか。

A. 副市長をトップに、東海大学からは、材料工学の専門家及び市役所OBや行政書士等5～7人の構成を予定している。7月下旬に第1回委員会を開催し、合計4, 5回の開催を考えている。

意見 再発防止に向け、根本的な課題解決方法を究明するべき。

(4) 土地利用委員会調整部会の審議案件について 開発指導課

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

なし

－14:53 閉会－